

FACE

第54回佐保祭を振り返って！
大学祭実行委員 2年生副委員長 藤原 花穂さん
島根県立松江北高等学校卒業実行委員長 谷 恭輔さん
京都市立伏見工業高等学校卒業ステージ企画 幸野 茉微さん
奈良県立奈良朱雀高等学校卒業

VOICE

準備の下積みがあったから、当日に嬉し涙が。
あの準備がないと涙は出なかった。

平成最後の佐保祭が10月28・29日爽やかな秋晴れのもと開催されました。次に学外実習等を控えてながらも、実行委員として奮闘した3名に話を聞きました。



実行委員になって どうだった？

谷：準備は楽しくなかったけど、準備の大切さを知りました。当日になって、もっとこうしといたら良かったと思うことが出てきました。

藤原：初めはあまり楽しいとは思えなかったけど、終わってみると遅くまで残って準備したり、そういうのも含めて大学祭なんだなと思いました。

幸野：吉本お笑いライブの準備が楽しかったです！

やってみて大変だったことは？

谷：プログラムの時間が余ってしまい、事前にどうするかもっと決めておいたら良かった。急遽音楽を流したり、ダンスをしたりアドリブで乗り切りました。

藤原：他の企画のことを知らなくて、手伝えなかったのが、把握しておいたら良かったと思いました。

幸野：当日はとにかくバタバタしてしまい、打合せ通りに進まず、皆が予定どおりの役割で動けなかったのが大変でした。

嬉しかったことは？

谷：当日始まった時に形になったことを実感した時です。途中で実行委員長をやめたいと思ったこともあったけど、みんなが楽しんでいる姿を見てとても嬉しかったです。

藤原：大変なこともあったけど、イベントに参加した人たちが楽しんでいるのを見た時と、最後、無事に終わった時、やってきて良かったと思えました。



幸野：近い距離で芸人さんとしゃべれたことです。（笑）

在学生へ来年に向けてメッセージ

谷：委員長は、皆に支えてもらっているという感謝の気持ちを忘れないでほしいです。「自分が引っ張って行く」より「自分も楽しもう」という気持ちで皆と力を合わせる大切だと思います。

藤原：本番のシュミレーションをしたら、必要な準備や危険が見えて、対応の仕方がわかってくるので、企画するには、「楽しいから」、「やりたいから」だけでなく、マイナス面も考えることが大切だと思います。

幸野：準備は早めにする事です。特に楽屋の準備や飾り付けは早めにしてください。

ステージ企画は芸人さんとも話せるのでラッキーですよ！





1 模擬店 賑わいました 2 学科対抗リレーが始まります 3 クラス対抗ダンス！楽しみました♪
 4 食物栄養コース2年生 伝統の松花堂弁当 5 第54回 佐保祭テーマ 6 東日本大震災 復興応援写真展開催
 7 クラス対抗ダンス！弾けました☆ 8 大学祭実行委員長やりきりました！ 9 フィナーレ集合写真

ナラサホ公式SNSアカウント

LINE@

- ・オープンキャンパスなどイベントのご案内
- ・入試情報
- ・本学の活動報告など、主に受験生や高校生向けの情報を配信しています。

奈良佐保短期大学と友だちになってうれしい情報をゲットしよう♪

LINE@

友だち募集中!

×

@narasaho





Instagram

- ・自然豊かな大学の風景
- ・オープンキャンパスなどのイベントの様子
- ・キャンパスの日常などの情報を発信し、ナラサホの魅力をお伝えしています。

Follow me!

Instagram

×

@narasaho

ナラサホ公式 Instagram


